参考:インパクト投資の定義と特徴(GIIN)

## インパクト投資 (impact investing) の定義

企業、組織、ファンドへの投資であり、金銭的なリターンをもたらすとともに、社会的及び環境的なインパクトを生み出すもの

Investments made into companies, organisations, and funds with the intention to generate social and environmental impact alongside a financial return.

## インパクト投資の4つの主な特徴

- **意図** Intentionality 投資を通じて社会的及び環境的なインパクトを生み出すという投資家の意図がインパクト投資の最も重要な要素である。
- 金銭的なリターンを期待する投資であること Investment with return expectations 金銭的なリターンを生み出すことを期待しており、少なくとも元本の回収を期待している。
- 金銭的なリターンや資産の区分の幅 Range of return expectations and asset classes 市場平均リターン以下からリスク調整後の市場平均リターンまでの幅の金銭的リターンを生み出す。
- インパクト評価 Impact measurement
   社会的及び環境的な成果や進捗を測定し報告することを表明している。

Source: GIIN

参考:インパクト投資の定義と特徴(OECD)(1/3)

## 社会的インパクト投資(social impact investing)の定義

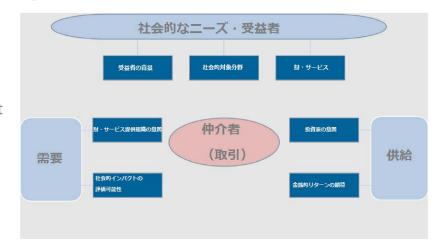
社会的インパクト投資とは、支援を必要とする受益者を対象とした、社会的分野における投資家と投資先との間の取引のことである。対象とする受益者はリスクを抱えた人々であるべきであり、提供される財は、公共と民間の良い点をミックスしたものであるべきである。これらの取引は、多くの場合、仲介者を使って行われる。投資先は、少なくとも、社会的インパクトに関する公式な評価を提供するとともに、社会的活動の義務的報告条項を記載すべきである。同時に、投資家は、少なくとも社会的インパクト投資のための義務的報告条項を有し、ゼロ以上の期待収益率を有するべきであるが、市場収益率を上回らないべきである(実際の収益率はそれ以上の可能性もある)。

Social Impact Investment is a transaction between an investor and investee in a social area, targeting beneficiaries in need. Beneficiaries targeted should be at risk populations and the good provided should have a mix of public and private good characteristics. These transactions are often made using intermediaries. The investee in the transaction should, at least, inscribe a compulsory reporting clause of its social activity in the statutes, as well as provide a formal evaluation of social impact. In parallel, the investor should, at least, have a compulsory reporting clause for social impact investments and have return expectations above or equal to zero, but not above the market rate of return (actual return may be higher).

## 社会的インパクト投資の特徴

以下の7つの特徴をすべて有していれば、その取引は社会的インパクト投資に該当する。

- 1. 社会的対象分野 Social Target Area
- 2. 受益者の背景 Beneficiary Context
- 3. 財・サービス Good / Service
- 4. 財・サービスを提供する組織の意図 Delivery organization intent
- 5. 社会的インパクトの評価可能性 Measurability of Social Impact
- 6. 投資家の意図 Investor Intent
- 7. 金銭的リターンの期待 Return expectation



# 参考:インパクト投資の定義と特徴(OECD)(2/3)

3. 計・サービス (中間の)	特徵		特徴の属性		適格性
対している。			村田の周田		地伯江
### 2	1. [22,553,553]		コミュニティ		
### 2		典型的なフィランソロピー	サル		
### 2			X10		
			芸術		
社会的インパクト投資の中核分野					~
社会的インパクト投資の中核分野         子とた・家族 社会的秩序・安全 住宅 失業 別籍、選場、エネルギー 水・衛生 金融サービス(マイクロアイナンスを含む) ICT         選場、エネルギー 水・衛生 金融サービス(マイクロアイナンスを含む) ICT         適格           2. 受益者の背景         JZクを抱えた人々         社会的人口構造         年齢 家族形態           3. 財・サービス         JZクを抱えていない人々         社会的人口構造         年齢 家族形態           3. 財・サービス         公共性の程度(*2)         社会的 (社会的インパクト投資)         海格 私的           4、財・サービス提供用職の意図 機能のは報告 外部認定などきアルル お的場ま力のある制的         世にその便像を表明するにプビないが、社会的成果が得られた場合を指す。 単にその便像を表明するにプビなイナラである。 接着的は報告 が認定などはアルル 活動物患力のある制的         不適格 との中間など。 法的機力のある制的         連絡 上その伊命からの機関 (mission drift)を防ぐための条項を契約に含むなど。 通格 の式評価かり、金銭換算ない 公式評価かり、金銭換算ない 公式評価かり、金銭換算ない 公式評価かり、金銭換算ない 公式評価かり、金銭換算ない 公式評価かり、金銭換算ない 公式評価が、金銭換算ない 公式評価が、金銭投資ない とったが自然を表明するにプビないが、社会的成果が得られた場合を指す。 連絡 イ 海路					
社会的42パクト投資の中級分野 住宅					
住宅		社会的インパクト投資の中核分野			
よの他の分野、 主流投資セプター         現場 エネルギー 水 海生 金融サービス(マイクロファイナンスを含む) ICT         通格           2. 受益者の背景         リスクを抱えた人々         社会的人口構造         年齢 家族形態 その他           カードラービス         人共性の程度(*2)         公的 (社会的インパクト投資)         不適格 (社会的インパクト投資)         不適格 (社会的インパクト投資)           4. 財・サービス提供組織の意図 特別を社会的使命の意図 機能な社会的使命の意図 機能な社会的使命の意図 機能を社会の使命の意図 機能のな社会、 が制能変に対すプリレ 会が影響に対すプリレ 会が影響に対すプリレ 会が影響に対すプリレ 会が影響に対すプリレ 会が影響に対すプリレ 会が影響に対すプリレ 会が影響の会験機算なし 会験的まからの意態((mission drift)を防ぐ水の条項を契約に含むなど。 適格 分の意態ではよう的成果 手が記述するの会験と関すなし 公式評価から、金銭機算なし 公式評価から、金銭機算なし 公工評価から、金銭機算なし 公工評価から、金銭機算なし 公工評価から、金銭機算なし 公工評価のと、金銭機算なし 公工部価のと、金銭機算なしていたりいてはないが、社会の成果が得られた場合を指す。 ※前を 本の事な力のある制的 法人格に基づな必要を表することを養所付けているか。 通格 表的事な力のある制的 法人格に基づな必要を表することを養所付けているか。 通格 表的事な力のある制的 法人格に基づな必要を表することを養所付けているか。 通格 表的事な力のある制的 法人格に基づな必要を表することを養所付けているか。 通格 表的事な力のある制的 法人格に基づな必要を表することを養所付けているか。 通格 表的事な力のある制的 法人格に基づな必要を表することを養所付けないるか。 通格 表的を表することを養所がより、 通格 表の事な力のある制の 法人格に基づな必要を表することを養所がよりなら、 通格 表の事な力のある制的 法人格に基づな必要を表することを養所付けないるか。 通格 表の事な力のある制的 法人格に基づな必要を表することを養所付けないるか。 通格 表の事な力のある制の 法人格に基づな必要を表することを養所がよりないる。 通格 表の事な力のある制の 法人格とことなどのを表する のを表することを養所がよりないる。 通格 表の事な力のある制の 法人をとないるとないのを表する のを表するとないのを表する のを表					
教育・職業訓練					
展業 現現・エネルギー 水 衛生 金融サービス(マイクロファイナンスを含む) ICT  2. 受益者の背景  リスクを抱えた人々  北会的人口構造 年齢 家族用態 その他  地区 質国 新興 先進 の他  地区 質国 新興 先進 4. 財・サービス  公共性の程度(*2) (社会的インパクト投資) 海船 関産な社会的機会の意図 単にて必要を表明するだけではないが、社会的成果を報告することを義務付けているか。 通格 外部認証又はラベル B-Cの可認証など。 通格 会的ウイバクトの評価可能性  評価なり お公式評価あり、金銭換算なり 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の 4 つのプロセスを実施しているものを指す。 海路 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の 4 つのプロセスを実施しているものを指す。 通格 の 大連格 会別 なびまずの場の 関連にである場別 (mission drift)を防ぐための条項を契約に含むなど。 通格 会別 なびまずの場の 単血にである。 通路 会別 なびまずの場の 金銭換算なり 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の 4 つのプロセスを実施しているものを指す。 通路 の 大連格 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の 4 つのプロセスを実施しているものを指す。 通路 公式評価を別・金銭換算なり 公式評価とば、計画、実行、評価、検証の 4 つのプロセスを実施しているものを指す。 海路 会別 金銭換事あり 金銭換算なり 公式評価とば、計画、実行、評価、検証の 4 つのプロセスを実施しているものを指す。 通路 公式評価を別・金銭換算なり 公式評価とば、計画、実行、評価、検証の 5 でかる。 海路 会別の登園とないたりがではないが、社会的成果を終しているものを指す。 洒路 表別の主義がある。 本適格 表別のは発音 社会的意図を表明するだけではネート分である。 不適格 表別のは発音 社会的意図を表明するだけではネート分である。 不適格 表別のは発音 社会的成果を経告することを表別が行いているか. 通格 元本の回収 不適格 元本の回収 不適格					
その他の分野、主流投資セクター   環境・エネルギー					地位
上流投資セッター   金融サービス(マイクロファイナンスを含む)   ICT   2. 受益者の背景					
ICT		王流投資セクター			
社会的人口構造   年齢 家族形態   その他   地区   質国   新興					
歌族形態   その他	2. 受益者の背景	リスクを抱えた人々			適格
地区   資因   新興   先進			社会的人口構造	- 年齢	
地区				家族形態	
新興				その他	
新興					
大進   所得			地区	1 1 1 1	
所得				1 222	
3. 財・サービス				¦ 先進	
3. 財・サービス					
3. 財・サービス         公共性の程度(*2)         公的         不適格           4. 財・サービス提供組織の意図         付随的な社会的成果         事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。         酒格           4. 財・サービス提供組織の意図         付随的な社会的成果         事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。         酒格           額務的な報告 外部認証又はラベル 法的拘束力のある制約         組織規則において、資金提供者に対して社会的な成果を報告することを義務付けているか。         適格           5. 社会的インパクトの評価可能性 投工評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の4つのプロセスを実施しているものを指す。         適格           6. 投資家の意図         付随的な社会的成果 支書で示された社会的意図 義務的な報告 対会的な成果を報告することを義務付けているか。         適格           7. 金銭的リターンの期待         法人格に基づく法的要求事項など。         適格           7. 金銭的リターンの期待         法人格に基づく法的要求事項など。         適格           市場金利以下のリターン         適格           適格         フィランソロビーであり、投資とは捉えられない。         不適格           適格         通格		リフクを拘っていたい。	· 所得		不溶物
公共性の程度(*2) (社会的インパクト投資) 適格 私的 不適格 私的 不適格 私的 不適格 人 財・サービス提供組織の意図 付随的な社会的成果 事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。 不適格	3 日オ・サービフ	リスクを担えていない人々	<b>/\</b> \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		
私的 不適格 4. 財・サービス提供組織の意図 付随的な社会的成果 事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。 不適格 明確な社会的使命の意図 単にその使命を表明するだけでは不十分である。 不適格 発酵的な報告 組織規則において、資金提供者に対して社会的な成果を報告することを義務付けているか。 適格 外部認証又はラベル 法的拘束力のある制約 社会的使命からの逸脱(mission drift)を防ぐための条項を契約に含むなど。 適格 社会的使命からの逸脱(mission drift)を防ぐための条項を契約に含むなど。 適格 非公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の4つのプロセスを実施しているものを指す。 適格 ソーシャルインパクトボンドなど。 適格 ソーシャルインパクトボンドなど。 適格 文書で示された社会的意図 単に社会的意図と表明するだけでは不十分である。 不適格 社会的な成果を報告することを義務付けている。 適格 社会的な成果を報告することを義務付けているものを指す。 不適格 社会的な成果を報告することを表明を引た場合を指す。 不適格 社会的な成果を報告することを表務付けているか。 適格 社会的な成果を報告することを表務付けているか。 適格 社会的なの意図を報告 法的拘束力のある制約 法人格に基づく法的要求事項など。 適格 元本の回収 市場金利以下のリターン 適格	3. M-9 CA	/\			
4. 財・サービス提供組織の意図 付随的な社会的成果 事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。 不適格 単にその使命を表明するだけでは不十分である。 不適格 組織規則において、資金提供者に対して社会的な成果を報告することを義務付けているか。 適格 外部認証又はラベル B-Corp認証など。 適格 社会的使命からの逸脱(mission drift)を防ぐための条項を契約に含むなど。 適格 社会的使命からの逸脱(mission drift)を防ぐための条項を契約に含むなど。 適格 ア適格 ア適格 会裁換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なり ソーシャルインパクトボンドなど。 適格 ソーシャルインパクトボンドなど。 適格 ソーシャルインパクトボンドなど。 適格 イ技会の意図 特別を社会的成果 事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。 不適格 文書で示された社会的意図 単に社会の意図を表明するだけではオーナ分である。 不適格 社会のな成果を報告することを義務付けているか。 適格 社会的な成果を報告することを義務付けているか。 適格 法人格に基づく法的要求事項など。 適格 元本の回収 市場金利以下のリターン 適格 適格		Z/(I=0/E)&( 2)			
議務的な報告 組織規則において、資金提供者に対して社会的な成果を報告することを義務付けているか。 適格 外部認証又はラベル B-Corp認証など。 適格 社会的使命からの逸脱(mission drift)を防ぐための条項を契約に含むなど。 適格 社会的使命からの逸脱(mission drift)を防ぐための条項を契約に含むなど。 適格 評価なし 非公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の4つのプロセスを実施しているものを指す。 適格 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の4つのプロセスを実施しているものを指す。 適格 ソーシャルインパクトボンドなど。 適格 対験のな社会的成果 事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。 不適格 文書で示された社会的意図 単に社会的意図を表明するだけではネーナウをある 「適格 社会的な成果を報告することを義務付けているか。 適格 社会的な成果を報告することを義務付けているか。 適格 法人格に基づ法的判束力のある制約 法人格に基づ法的要求事項など。 適格 元本の回収 「適格 一元本の回収 「通格 一元本の回収 「通本	4. 財・サービス提供組織の意図	付随的な社会的成果		的成果が得られた場合を指す。	
外部認証又はラベル 法的拘束力のある制約         B-Corp認証など。 社会的使命からの逸脱(mission drift)を防ぐための条項を契約に含むなど。         適格           5. 社会的インパクトの評価可能性         評価なし 非公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価あり、金銭換算あり 公式評価あり、金銭換算あり 公式評価をしていたりけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。 連に社会の意図を表明するだけではネーナクである。 本適格 社会的な成果を報告することを義務付けているか。 義務的な報告 法会的有束力のある制約 法人格に基づ法的要求事項など。 適格         不適格 流格           7. 金銭的リターンの期待         助成金 元本の回収 市場金利以下のリターン         フィランソロピーであり、投資とは捉えられない。         不適格 適格		明確な社会的使命の意図			不適格
法的拘束力のある制約   社会的使命からの逸脱 (mission drift) を防ぐための条項を契約に含むなど。 適格   評価なし		 義務的な報告			適格
5. 社会的インパクトの評価可能性         評価なし 非公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価あり、金銭換算あり 分ーシャルインパクトボンドなど。 適格         公式評価とは、計画、実行、評価、検証の4つのプロセスを実施しているものを指す。 適格         適格           6. 投資家の意図         付随的な社会的成果 文書で示された社会的意図 義務的な報告 法的物東力のある制約         事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。 単に社会的意図表明するだけでは不十分である。 社会的な成果を報告することを義務付けているか。 適格         不適格 法人格に基づ法的要求事項など。 適格           7. 金銭的リターンの期待         助成金 元本の回収 市場金利以下のリターン         フィランソロピーであり、投資とは捉えられない。 適格		外部認証又はラベル	B-Corp認証など。		適格
#公式評価あり、金銭換算なし 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の4つのプロセスを実施しているものを指す。 適格 公式評価あり、金銭換算なり 公式評価とは、計画、実行、評価、検証の4つのプロセスを実施しているものを指す。 適格 公式評価あり、金銭換算あり ソーシャルインパクトボンドなど。 適格 りた 投資家の意図 付随的な社会的成果 事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。 不適格 文書で示された社会的意図 単に社会的意図を表明するだけでは不十分である。 不適格 社会的なな報告 社会的なな果を報告することを義務付けているか。 適格 法的拘束力のある制約 法人格に基づ法的要求事項など。 適格 元本の回収 市場金利以下のリターン 適格 適格		法的拘束力のある制約	社会的使命からの逸脱(mission drift	<ul><li>) を防ぐための条項を契約に含むなど。</li></ul>	適格
公式評価あり、金銭換算なし 公式評価あり、金銭換算あり         公式評価とは、計画、実行、評価、検証の 4 つのプロセスを実施しているものを指す。 適格         適格           6. 投資家の意図         付随的な社会的成果 文書で示された社会的意図 義務的な報告 法的拘束力のある制約         事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。 単に社会的意図を表明するだけでは不十分である。 不適格 社会的な成果を報告することを義務付けているか。 適格 法人格に基づく法的要求事項など。 適格         不適格 流格の里求事項など。 適格           7. 金銭的リターンの期待         助成金 元本の回収 市場金利以下のリターン         フィランソロピーであり、投資とは捉えられない。 適格	5. 社会的インパクトの評価可能性	評価なし		不適格	
公式評価あり、金銭換算あり         ソーシャルインパクトボンドなど。         適格           6.投資家の意図         付随的な社会的成果         事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。         不適格           文書で示された社会的意図         単に社会的意図を表明するだけでは不十分である。         不適格           義務的な報告         社会的な成果を報告することを義務付けているか。         適格           法的拘束力のある制約         法人格に基づ(法的要求事項など。         適格           7.金銭的リターンの期待         助成金         フィランソロピーであり、投資とは捉えられない。         不適格           元本の回収         適格           市場金利以下のリターン         適格					
6. 投資家の意図       付随的な社会的成果       事前に意図していたわけではないが、社会的成果が得られた場合を指す。       不適格         文書で示された社会的意図       単に社会的意図を表明するだけでは不十分である。       不適格         義務的な報告       社会的な成果を報告することを義務付けているか。       適格         法人格に基づ(法的要求事項など。       適格         7. 金銭的リターンの期待       助成金       フィランソロピーであり、投資とは捉えられない。       不適格         元本の回収       適格         市場金利以下のリターン       適格				<b>剣証の4つのプロセスを実施しているものを指す。</b>	
文書で示された社会的意図         単に社会的意図を表明するだけでは不十分である。         不適格 義務的な報告         社会的な成果を報告することを義務付けているか。         適格           法的拘束力のある制約         法人格に基づ(法的要求事項など。         適格           7.金銭的リターンの期待         助成金         フィランソロピーであり、投資とは捉えられない。         不適格 元本の回収 市場金利以下のリターン         適格	- 10 30			(b. 1) = 1   (c. b. 1)   (c. b	
義務的な報告     社会的な成果を報告することを義務付けているか。     適格       法的拘束力のある制約     法人格に基づ(法的要求事項など。     適格       7. 金銭的リターンの期待     助成金     フィランソロピーであり、投資とは捉えられない。     不適格       元本の回収     適格       市場金利以下のリターン     適格	6. 投資家の意図				
法的拘束力のある制約   法人格に基づく法的要求事項など。   適格   7. 金銭的リターンの期待   助成金   フィランソロピーであり、投資とは捉えられない。   不適格   元本の回収   適格   市場金利以下のリターン   適格					
7. 金銭的リターンの期待       助成金       フィランソロピーであり、投資とは捉えられない。       不適格         元本の回収       適格         市場金利以下のリターン       適格					
元本の回収適格市場金利以下のリターン適格	7 全銭的リターンの期待			1)	
市場金利以下のリターン 適格	/・ 並来		フィフンフロこ (の)か 3又長こは近れり118	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
│ 市場金利を超えるリターン       利益目的の通常の投資と変わらない。ただし、結果として市場金利を超えるリターンを得る可能性はある。│ 不適格		市場金利を超えるリターン	利益目的の通常の投資と変わらない。た	ごし、結果として市場金利を超えるリターンを得る可能性はある。	不適格

(\*1) 社会的対象分野には多くの場合重なりがあることに留意する必要がある。 課題はさまざまな社会的対象分野に跨ることがあるだけでなく、ある分野の活動が他の分野への影響や 波及効果をもたらす可能性もある。

#### (\*2)公共性の程度

		経済効率性		
		個人	社会/システム	
社会的インパ	個人	私的	社会的インパクト投資の 対象となり得る (例) 再犯率を下げ、犯 罪者を社会復帰させ、刑務 所の予算を削減する	
ハクト		社会的インパクト投資の 対象となり得る (例)手頃な価格の住宅	公的	

Source: OECD "Social Impact Investment - Building the Evidence Base" (2015)

# 参考:インパクト投資の定義と特徴(OECD)(3/3)

CHARACTERISTICS	Attributes of the Characteristic			Eligibility
		Community		,,
	Typically	Culture		
	Philanthropy	Arts		
		Ageing		IN
		Disability		IN
		Health		IN
		Children and Families		IN
	Core SII areas	Public order and Safety		IN
1. Social Target Areas		(Affordable) Housing		IN
		Unemployment		IN
		Education and Training		IN
		Agriculture		
	Other areas,	Environment and Energy		
	leaning	Water and Sanitation		
	towards	Financial Services (incl. Micro	finance)	
	mainstream	ICT	municey	
	Population at risk			IN
	TISK		Age	
		Social Demographics:	Family type	
		Social Belliographics.	Other	
2. Beneficiary context			Underserved	
		Location:	Developing	
			Developed	
		Income		
	Population not			OUT
	at risk			OUT
	Public			001
3. Good\Service	Degree of pub	Degree of publicness (SII)		
		Private		
	Incidental Social	Incidental Social outcome		
	Clear Social Mission Intent			OUT
4. Delivery organisation intent	Compulsory reporting			IN
	(Seeks and obtains) External Certification or Label			IN
	Legally binding constraints			IN
	No measurement			OUT
5. Measurability of Social Impact	Informal evaluation, not valued			OUT
	Formal evaluation but not valued Formal evaluation and valued			IN IN
	Incidental Social outcome			OUT
	Social intent expressed in statement			OUT
6. Investor intent	Compulsory reporting			IN
	Legally binding constraints			IN
	Grants			OUT
7. Return expectation	Return of Capital			IN
	Profit =< market			IN
	Profit > market RR			OUT

(\*1) It should be noted that there is often a degree of overlap between social areas. Not only can issues cut across various social areas, but actions in one area can have an impact or spillover into other areas.

#### (\*2) Degree of publicness

Impacts at the individual or societal\systemic level

Degree of publicness	Individual efficiency gains	Systemic efficiency gains	
Social impact on the individual	PRIVATE Possible SI		
Social impact on the society	Possible SII	PUBLIC	

Source: OECD "Social Impact Investment – Building the Evidence Base" (2015)

参考:インパクト投資の定義(その他)

## G8社会的インパクト投資タスクフォース

社会的インパクト投資(social impact investments)とは、特定の社会的目標の達成と同時に金銭的リターンを生み出すことを 意図し、またその両方の成果を評価する投資である。

Social Impact Investments are those that intentionally target specific social objectives along with a financial return and measure the achievement of both.

Source: G8 Social Impact Investment Taskforce "Impact Investment: The Invisible Heart of Markets" (2014)

## 世界経済フォーラム

インパクト投資(impact investing)とは、金銭的リターンと積極的に評価される正の社会的及び環境的インパクトの両方を追求する投資手法である。

Impact investing is an investment approach that intentionally seeks to create both financial return and positive social or environmental impact that is actively measured.

Source: World Economic Forum "From the Margins to the Mainstream Assessment of the Impact Investment Sector and Opportunities to Engage Mainstream Investors" (2013)

### 欧州委員会

インパクト投資(Impact Investing)とは、金銭的リターンとともに社会的インパクトを生み出すことを目的とする投資形態である。

Impact investing is a form of investment that aims to generate social impact as well as financial return.

Source: European Commission " A recipe book for social finance" (2016)